

第39回 スガウェザリング財団賞 表彰

■ 科学技術賞

はやかわやすひろ

早川泰弘

独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所
保存科学研究センター長

可搬型蛍光 X 線分析装置による文化財調査 -日本絵画の彩色材料に関する新知見-

早川氏は、可搬型蛍光 X 線分析装置を用いた文化財の非破壊調査を、わが国で最も早くから行い、この分析手法への信頼を確立した文化財の科学的調査研究に関する第一人者である。これまでに多岐にわたる文化財を調査する中で、絵画については飛鳥時代の高松塚古墳壁画から近代絵画にいたる 300 作品近い作品を調査し、水銀を主成分とする白色顔料の発見、鉛白から胡粉への白色顔料の転換、亜鉛やヒ素を含む緑青の発見など、日本絵画における彩色材料の特徴を科学的に明らかにし、その成果を包括的に著した。多くの文化財研究、文化財保存分野の研究に尽力した活動は特筆すべきものがあり、その貢献度は多大である。

(推薦団体：独立行政法人 国立文化財機構 東京文化財研究所)

(所属・肩書きは受賞決定当時 敬称略)